

平成26年度「いじめ防止サミット in 北九州」開催結果概要

◎ 平成26年8月11日(月)、8月12日(火)の2日間、北九州国際会議場やAIM、西日本総合展示場を会場として、いじめ防止サミット in 北九州を開催

◎ 市内131校の小学校と63校の中学校から代表児童生徒が各3名ずつ、約600名の児童生徒が参加

実行委員会の取組

本年度は、小中学生の各区代表児童生徒14名が実行委員となり、サミットの計画・進行を行った。サミットまでに、3回話し合いを重ね、サミットの討議の柱【資料1】や、サミットの際に自分たちができる役割を決定した。こうした活動を通して、児童生徒が自分たちでサミットを作っていくという意欲が高まった。

【資料1】討議の柱

- ① 昨年度の取組の振り返り
- ② いじめを生まない携帯電話やスマートフォンの使い方やルール
 - 時間
 - 言葉
 - おとなへの相談

各学校の意見の集約

全小中学校から、昨年度のいじめ撲滅のための取組の振り返りやいじめを生まない携帯電話やスマートフォンの使い方やルールについての意見・取組をアンケート形式で事前に提出させ、各学校独自の工夫された取組がたくさん見られた。アンケート結果を集約したものを実行委員会でも取り上げ、討議の柱を考える際の参考にした。

いじめ防止サミット in 北九州 1日目 グループ会議

8月11日(月)は、代表児童生徒が28のグループに分かれて話し合い、各学校の取組や代表児童生徒の考えをもとに、意見交換を行った。他の学校の取組を自分の学校でも取り入れていきたいという意見もあった。最後に、グループごとに意見をまとめた。



全体会

グループ会議に続いて行われた全体会では、グループの代表児童生徒が各グループでまとめた意見を報告した。続いて、意見交換を行い、本年度のいじめ撲滅のための取組【資料2】を採択した。

【資料2】採択された取組

① 昨年度の取組を継続する。

- スローガン「なくそういじめ！ふやそう笑顔！」
- いじめ撲滅宣言
 - ・私たちは、自分やみんなの心と体を気にかけて大切にします。
 - ・私たちは、あなたの悲しみを自分の悲しみとして受け止めます。
 - ・私たちは、いじめを許さず、仲間と一緒に考えます。
 - ・私たちは、自分ができることから実行し、いじめのない北九州市をめざします。
- クローバーキャンペーン(クローバーシールを全児童生徒に配布)
- ポスター

② いじめを生まない携帯電話やスマートフォンの使い方やルールについて

- ケータイ・スマホ 夜10時オフ
- 相手を傷つけることばは使わない
- 困ったときはおとなに相談する



いじめ防止サミット in 北九州 2日目 報告

8月12日(火)は、まず、市内の学校の良い取組例として霧丘小学校、引野中学校の取組を映像等で紹介した。手作りの紙芝居や生徒が出演したビデオなど、児童生徒が主体となったすばらしい取組であった。また、花尾中学校の今年の生徒総会で携帯電話やスマートフォンの使い方を取り上げ全校で話し合った取組や、特別支援学校での取組を紹介した。福岡市からは2名の中学生が参加し、市内の小中学生が参加した「いじめゼロサミット」についての報告をした。次に各グループの代表児童生徒がグループの意見をまとめたものを発表した。最後に1日目の全体会で採択された本年度の取組を紹介し、会場のみんなでスローガンやいじめ撲滅宣言文を唱和した。会場の参加者からは、子ども達がいじめ撲滅に向けて真剣に話し合ったことを評価する声や、おとなが子どもたちを温かく見守っていく必要があるという意見が出た。